

凍結したときの対応方法

給湯機周囲の外気温が0℃以下になると配管が凍結します。
配管が凍結し、以下のような症状が出た場合は、処置方法に従って処置してください。

(1)蛇口(混合水栓)からお湯が出ない (台所、洗面、浴室)

・原因: 貯湯ユニットに接続されている給水配管や給湯配管などが凍結していることが考えられます。(図1)

- ・処置: ①自然に解凍するのを待つか、配管にお湯(約40~50℃)を掛けて解かしてください。高温のお湯を掛けると配管が破損する場合がありますのでご注意ください。
②お湯が出るようになったら、配管に掛けたお湯をふき取るようにしてください。

・凍結防止の方法:

- ①給湯温度を低温に設定し、混合水栓を少し開けて、わずかに水が出るように開けておきます。(1分間に200cc:コップ1杯分が目安)
・シングルレバーの場合は、レバーを水側と湯側の中間位置に開けます。(図2)
・ツーハンドルの場合は、水側と湯側のハンドルを同じ程度に開けます。(図2)
・サーモスタット付の場合は、混合水栓の温度設定を40℃前後にして、ハンドルを開けます。(図2)
②配管全体に凍結防止ヒーター(現地準備品)を取り付けます。(図3)
凍結防止ヒーターが取り付けでない場合は、お買い上げの販売店または工事店にご相談ください。
既に取り付けてある場合は、プラグをコンセントに差し込みます。

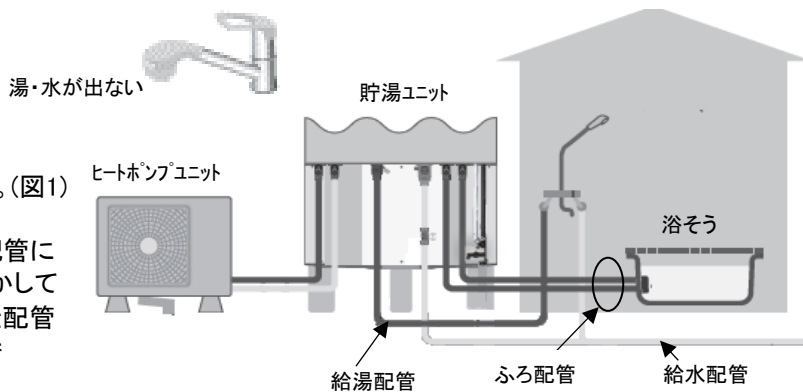


図1. 配管例

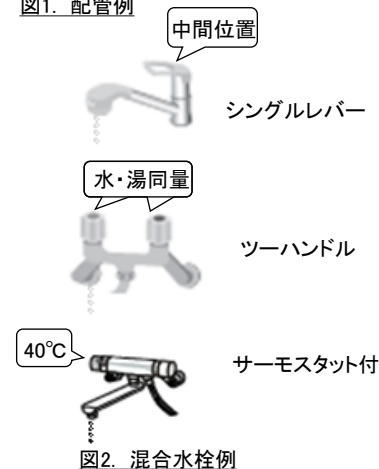


図2. 混合水栓例

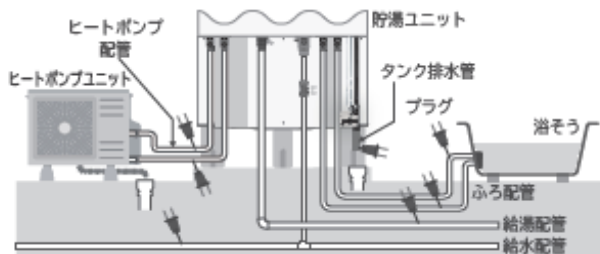


図3. 配管例(凍結防止ヒーター取り付け)

(2)お風呂の湯はりが出来ない。蛇口(混合水栓)からお湯は出る。 Er24、Er15などの点検表示が発報する。

・原因: ふろ配管が凍結していることが考えられます。(図1)

- ・処置: ①自然に解凍するのを待つか、配管にお湯(約40~50℃)を掛けて解かしてください。高温のお湯を掛けると配管が破損する場合がありますのでご注意ください。
②お湯が出るようになったら、配管に掛けたお湯をふき取るようにしてください。
③Er24、Er15が発報した場合は、点検表示を解除してください。(3ページ参照)

・凍結防止の方法:

- ①フルオート機種及びセミオート機種
配管全体に凍結防止ヒーター(現地準備品)を取り付けます。(図3)
凍結防止ヒーターが取り付けでない場合は、お買い上げの販売店または工事店にご相談ください。
既に取り付けてある場合は、プラグをコンセントに差し込みます。
②フルオート機種のみ
浴そうにお湯をふろ循環アダプター上端より約5cm以上残しておきます。自動で凍結防止運転を行います。(図4)

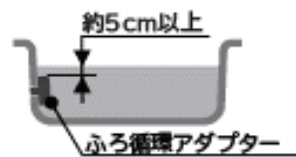


図4. ふろの凍結防止

**(3) お湯が沸き上がっていない。
HE22の点検表示が発報する。**

・原因: 給水配管が凍結し、その状態でタンクの沸き上げや給湯、お風呂の湯はりを行ったため、貯湯ユニットやヒートポンプユニットの中に空気溜まりができ、湯・水が循環できなくなったことが考えられます。(図1)

・処置: ①給水配管の凍結が自然に解凍するのを待つか、配管にお湯(約40～50℃)を掛けて解かしてください。高温のお湯を掛けると配管が破損する場合がありますのでご注意ください。
②解けたことを確認したら、配管に掛けたお湯をふき取るようにしてください。
③HE22が発報した場合は、点検表示を解除してください。(3ページ参照)

・凍結防止の方法:

- ①給湯温度を低温に設定し、混合水栓を少し開けて、わずかに水を出すように開けておきます。(1分間に200cc:コップ1杯分が目安)
 - ・シングルレバーの場合は、レバーを水側と湯側の中間位置にして開けます。(図2)
 - ・ツーハンドルの場合は、水側と湯側のハンドルを同じ程度開けます。(図2)
 - ・サーモスタット付の場合は、混合水栓の温度設定を40℃前後にして、ハンドルを開けます。(図2)
- ②配管全体に凍結防止ヒーター(現地準備品)を取り付けます。(図3)
凍結防止ヒーターが取り付けいてない場合は、お買い上げの販売店または工事店にご相談ください。
既に取り付けてある場合は、プラグをコンセントに差し込みます。

これらの処置を行っても解消されない場合は、お買い上げの販売店または修理コールセンターへ連絡してください。

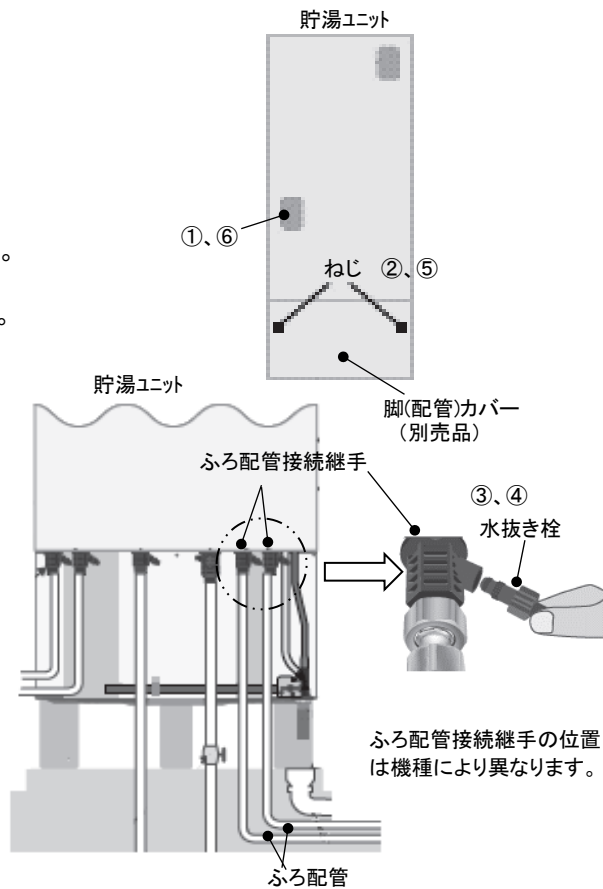
凍結により以下の点検表示が発報した場合、解氷を行った後、以下の手順に従って点検表示を解除してください。

■点検表示 Er24 の解除方法

- ・原因: ふろ配管が凍結し、配管内の圧力が上昇した。
- ・解除方法:

脚(配管)カバーの取外し作業をする場合は、軍手をはめて作業をしてください。

- ①漏電遮断器のスイッチを「OFF」にしてください。
- ②貯湯ユニットに脚(配管)カバーが取り付けられている場合、ねじを外しカバーを外してください。
- ③ふろ配管接続継手の水抜き栓を開いて、湯・水を出してください。
- ④湯・水が出なくなったら元通りに取り付けてください。
- ⑤脚(配管)カバーを元通り取り付けてください。
- ⑥漏電遮断器のスイッチを「ON」にしてください。



■点検表示 Er15 の解除方法

- ・原因: ふろ配管が凍結して、おふろに湯が出せなくなった。

- ・解除方法:
リモコンの「決定」ボタンを押した後、「メニュー」ボタンを3秒以上長押ししてください。本操作で解除できない場合は元電源をOFFして解除してください。

■点検表示 HE22 の解除方法 (型式BHP-TAS(V)***、BHP-TDS***除く)

- ・原因: 給水配管が凍結し、その状態でタンクの沸き上げや給湯、お湯はりを行ったため、貯湯ユニットやヒートポンプユニットの中に空気溜まりができ、湯・水が循環できなくなった。

- ・解除方法:
脚(配管)カバーの取外し作業をする場合は、軍手をはめて作業をしてください。

- ①リモコンの「決定」ボタンを押した後、「メニュー」ボタンを3秒以上長押し、点検表示を解除してください。本操作で解除できない場合は元電源をOFFして解除してください。
- ②貯湯ユニットに脚(配管)カバーが取り付けられている場合、ねじを外しカバーを外してください。
- ③逃し弁のレバーを上げ、タンク排水管から連続してお湯が出ることを確認してください。
- ④逃し弁のレバーを下げ、タンク排水管からお湯が出ないことを確認してください。
- ⑤脚(配管)カバーを元通り取り付けてください。
- ⑥リモコンの「タンク沸き増し」ボタンを押して、タンクの沸き上げを行ってください。お湯ができるまで、2時間程度お待ちください。

